

文化の拠点に 仮称 町総合会館

仮称町総合会館の全景完成予想図です。
左手前の大きな建物が、大小ホールを備えた中央公民館、また奥の左側の建物が図書館で、右側が歴史民族資料館です。外観は、壬生城跡にふさわしい八角形の屋根を取り入れ、町民の芸術、文化、産業の殿堂として、現在、工事が順調に進んでいます。



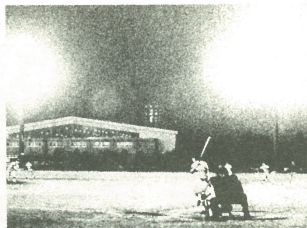
〈総合会館建設始まる〉

現在の中央公民館が昭和二十六年に建設され、約三十年を経過して老朽化が著しくしかも手狭で町民の要望に応じることができないことから、総合会館（仮称）を山王生中学校跡地に五月二十一日着工。工事の進行状況は現在約三〇％で、建設工事が順調に進んでいます。

昭和59年をふりかえって

広報紙面から

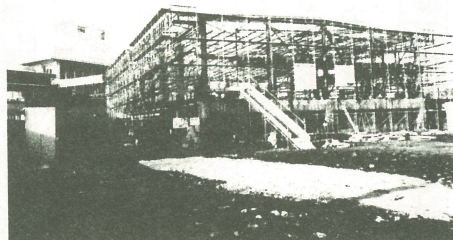
今年も師走を迎え、残りもあとわずかととなりました。わたしたちの町では、この一年間にどんなことがあったでしょうか。そこで、昭和五十九年の主なできごとを、広報紙面からふりかえってみました。



〈待望の夜間照明施設が完成〉
夜間照明が3月に完成、夏フル回転しました。



〈にぎわった第2回ふるさとまつり〉
町ふるさとまつりは、8月14日～15日の2日間壬生大通りで行い大勢でにぎわいました。



〈南犬飼中学校格技室建設始まる〉
スポーツの振興と健全な生徒作りの格技室の建設が9月20日着工。

今年の主なできごと

1月 町内各界を代表する四〇〇人を迎え、中央公民館で新年祝賀式を開く。
○教育長に柴川敏雄氏、教育委員に松本幸三氏が就任。

2月 ○南犬飼中学校増改築工事完成
○いちごの里めぐりマラソン大会に一〇〇人が参加。
○第二保育所が南犬飼支所南側に移転し完成。

3月 ○総合運動場に夜間照明施設完成。
○安塚小学校増改築工事完成。
○町結婚相談所主催の十四回農業後継者新婚夫妻激励会と、相談員に感謝する会が中央公民館で開かれる。

4月 ○総合運動場テニスコート、駐車場が完成。

5月 ○仮称町総合会館、中央公民館図書館・歴史民族資料館の建設工事に着手。

6月 ○空き缶公害の統一美化キャンペーンを実施。
○藤井小、羽生田小の増改築工事に着手。

7月 ○壬生地区市街地の住居表示が実施され、新しく八つの町名ができる。
○青少年健全育成町民総決起大会を開く。

8月 ○ふるさと祭りに一万人が参加して大通りで行われる。
○かんぴょうが穫って遊賀泉口町と姉妹都市提携の計画が進む。

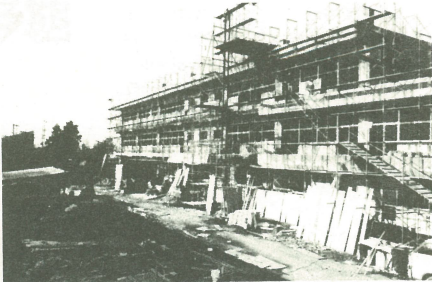
9月 ○名護町民第一号の間護氏七十六歳で逝去される。
○南犬飼中学校格技室建設工事に着手。

10月 ○町民歩け歩け大会に三百人が参加して行われる。

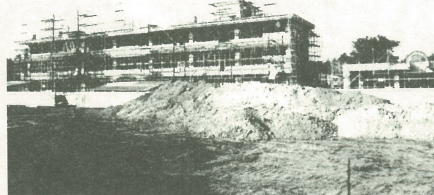
11月 ○教育長に楢木 恒氏、教育委員に毛塚俊昭氏が就任。
○自治功労者十人を表彰。
○空き缶公害の環境美化と資源空気に、缶つぶし機「カン食い虫」を全小中校に設置。

12月 ○消防団通常点検を壬生小校庭で行う。
○船田知事辞任に伴う知事選挙で渡辺文雄氏が当選。

〈藤井小学校の増改築始まる〉 義務教育施設の整備のため、校舎等の増改築工事に六月二十五日着工。



〈羽生田小学校の増改築始まる〉
木造づくりで老朽化が進んでいるため、校舎等の増改築工事に六月二十五日着工。



「国籍法」と「戸籍法」の一部が改正されました

「国籍法」と「戸籍法」の一部が改正され、昭和六十年一月一日から施行されますが、その主な改正点はつぎのとおりです。
◆これまで父が日本人でなければその子は日本人になれなかったのですが、昭和六十年一月一日から「父または母」のいずれかが日本人であれば、その子は日本の国籍を取得できます。
◆国際結婚をした日本人女性の子で、昭和六十年一月一日に二十歳未満である未成年者は

一定の条件で、施行の日から三年以内に届け出ることでよって日本の国籍を取得することができるとなりました。そのほか、帰化の条件なども改正されました。
※詳しいことは住民課にお尋ねください。

- を認め、中央公民館で新年祝賀式を開く。
○教育長に柴川敏雄氏、教育委員に松本幸三氏が就任。
- 2月 ○南犬飼中学校増改築工事完成
○いちごの里めぐりマラソン大会に一〇〇人が参加。
○第二保育所が南犬飼支所南側に移転し完成。
- 3月 ○総合運動場に夜間照明施設完成。
○安塚小学校増改築工事完成。
○町結婚相談所主催の十四回農業後継者新婚夫妻激励会と、相談員に感謝する会が中央公民館で開かれる。
- 4月 ○総合運動場テニスコート、駐車場が完成。
- 5月 ○仮称町総合会館、中央公民館図書館・歴史民族資料館の建設工事に着手。
- 6月 ○空き缶公害の統一美化キャンペーンを実施。
○藤井小、羽生田小の増改築工事に着手。
- 7月 ○壬生地区市街地の住居表示が実施され、新しく八つの町名ができる。
○青少年健全育成町民総決起大会を開く。
- 8月 ○ふるさと祭りに一万人が参加して大通りで行われる。
○かんぴょうが穫って遊賀泉口町と姉妹都市提携の計画が進む。
- 9月 ○名護町民第一号の間護氏七十六歳で逝去される。
○南犬飼中学校格技室建設工事に着手。
- 10月 ○町民歩け歩け大会に三百人が参加して行われる。
- 11月 ○教育長に楢木 恒氏、教育委員に毛塚俊昭氏が就任。
○自治功労者十人を表彰。
○空き缶公害の環境美化と資源空気に、缶つぶし機「カン食い虫」を全小中校に設置。
- 12月 ○消防団通常点検を壬生小校庭で行う。
○船田知事辞任に伴う知事選挙で渡辺文雄氏が当選。



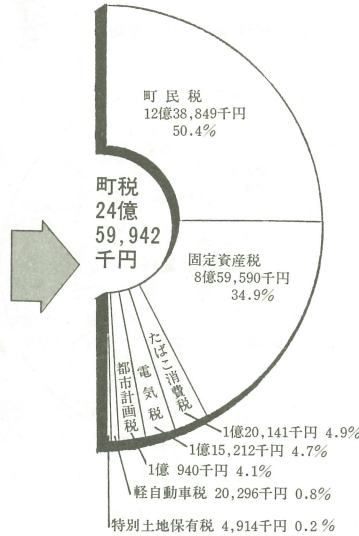
環境整備のため着々と進められている下水道工事
(舟町地内)

| | | | |
|-----------|----------|--------|----------|
| 町民一人当り負担額 | 66,828円 | 町民税 | 33,655円 |
| | | 固定資産税 | 23,352円 |
| | | たばこ消費税 | 3,264円 |
| | | 電気税 | 3,130円 |
| | | 都市計画税 | 2,742円 |
| | その他 | 685円 | |
| 一世帯当り負担額 | 237,446円 | 町民税 | 119,580円 |
| | | 固定資産税 | 82,972円 |
| | | たばこ消費税 | 11,597円 |
| | | 電気税 | 11,121円 |
| | | 都市計画税 | 9,743円 |
| | | その他 | 2,433円 |

財政状況

昭和59年度上半期
(昭和59年9月30日現在)

町税のうちわけ



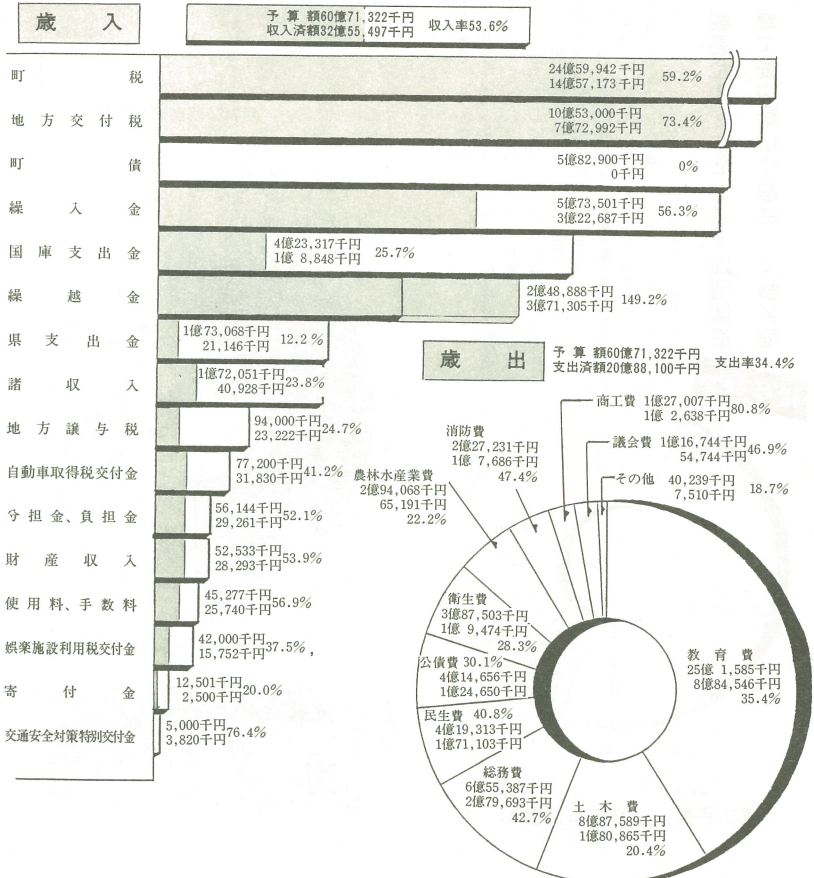
特別会計予算の執行状況

| 区分 | 会計名 | 単位 千円 | | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| | | 国民健康保険 | 公共下水道 | 国谷区画整理 | 奨学資金 | 老人保健 | 上水道 |
| 予 算 額 | 1,373,906 | 581,090 | 178,034 | 1,699 | 881,799 | 収益的 384,587 | 資本的 収入11,025 |
| 収 入 済 額 (収 入 率) | 595,892 (43.4%) | 137,730 (23.7%) | 16,434 (9.2%) | 1,530 (90.1%) | 382,885 (43.4%) | 208,857 (54.3%) | 支出68,994 |
| 支 出 済 額 (支 出 率) | 477,218 (34.7%) | 137,262 (23.6%) | 14,971 (8.4%) | 924 (54.4%) | 395,348 (44.8%) | 173,500 (45.1%) | 10,614 (15.4%) |

壬生町民憲章 1. 思いやりに満ちた心であたたかい社会をつくります

の公表

一般会計予算の執行状況



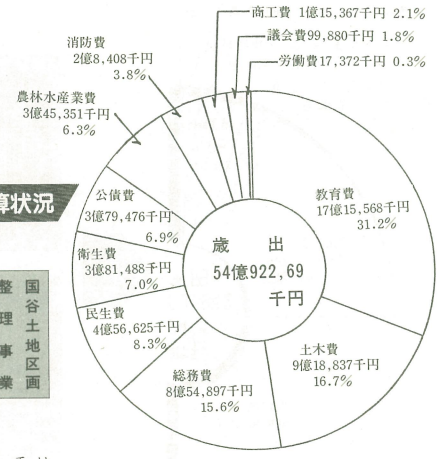
壬生町民憲章 1. 自然と歴史を大切に、よりよい環境をつくります

地方債現在高

| | |
|---------|-------------|
| 普通会計 | 3,895,682千円 |
| 一般公共事業 | 36,144 |
| 一般単独事業 | 466,414 |
| 公営住宅 | 314,152 |
| 義務教育 | 1,685,202 |
| 一般廃棄物処理 | 546,310 |
| 厚生福祉 | 172,324 |
| 公共用地取得等 | 68,000 |
| 地域改善 | 139,765 |
| その他 | 467,371 |
| 上水道事業 | 2,324,891千円 |
| 公共下水道 | 1,144,800千円 |

まちの台所は

② 歳出の状況 (一般会計)



特別会計決算状況

国谷土地区画整理事業
国谷土地区画整理事業特別会計の決算は、歳入が一億四三二六万六千円、歳出一億三三二万六千円となり、残額六〇三万円を、昭和五十九年度へ繰り越しました。

老人保健事業
老人保健事業特別会計の決算は、歳入が七億四一七万円、歳出六億八七九万三千円となり、残額五七二万七千円を、昭和五十九年度へ繰り越しました。

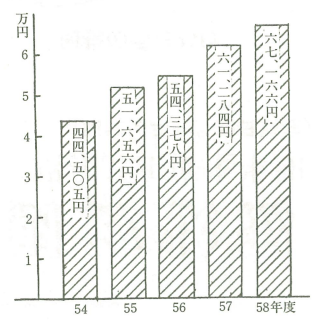
公共下水道事業

公共下水道事業特別会計の決算は、歳入が五億四一七万四千円、歳出五億一〇〇八万一千円となり、残額三二七万四千円を、昭和五十九年度へ繰り越しました。

奨学資金

奨学資金特別会計の決算は、歳入が一億九千三百円、歳出九千二百円となり、残額九千九百円を、昭和五十九年度へ繰り越しました。

町民一人当たり町税負担額



国民健康保険

国民健康保険特別会計の決算は、歳入が十二億三億四八四万二千円、歳出が十一億五七八〇万一千円となりました。

歳入歳出の差引額は、七億四千万円とあり、このうち四九〇〇万円を国民健康保険給付基金に積立、残額三億四千万円を、昭和五十九年度へ繰り越しました。

水道事業

水道事業会計は、収益的取支では、総収入額三億八四四五万三千円、総支出額三億六四二九万五千円であり、経常利益二〇二万五千円となりました。

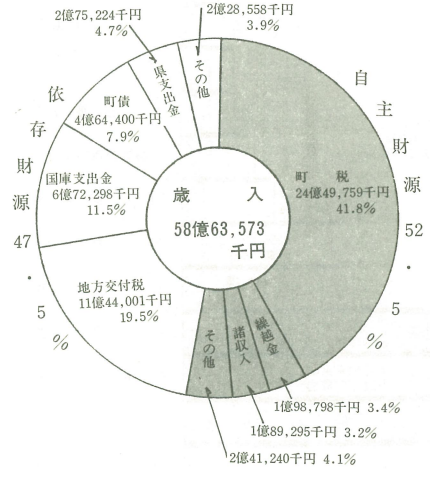
資本的取支では、総収入額七千九百円、総支出額四九八七万四千円であり、収支不足額は、過年度損益勘定留保資金および当年度損益勘定留保資金で補てんしました。

壬生町民憲章 1. きまりを守り互いに信じあう明るい町をつくります

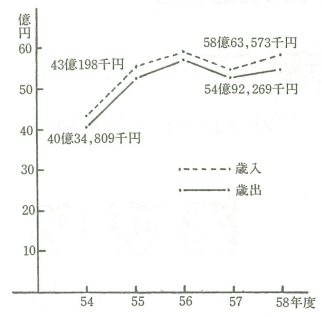
このように

昭和58年度決算

① 歳入の状況 (一般会計)



一般会計決算額の推移



③ 性質別歳出状況 (普通会計)



一般会計

南犬飼中・安塚小の増改築工事 夜間照明・テニスコート等整備

昭和五十八年度の一般会計の決算額は、歳入五十八億六三三七万三千円、歳出五十八億六三三七万三千円、予算額に比べますと、二・七％増、前年度決算額に対し七・二％増となりました。

また歳出では、五十四億九二二六万九千円、予算額に比べますと九六・二％の執行で、前年度決算額と比較し四・二％の増となり、歳入の決算の割合を示したものです。町税などの自主財源が総収入の五二・五％を占め、地方交付税や国庫支出金などの「依存財源」が四七・五％を占めています。

これらの財源がどのような事業に、どのくらい使われているかは、歳出グラフのとおりで

す。教育費、土木費、総務費、民生費、公債費などの順になっています。

グラフ③は、性質別歳出状況を示したものです。全体の四二・八％を占める建設費は、義務教育施設の充実をはかるため、南犬飼中学校及び安塚小の増改築工事をはじめ、社会体育施設として利用者から長年要望のあった夜間照明施設・テニスコートの整備、さらに町道・農道の整備や、中東地区団地整備などによるものです。

次いで、人件費は職員などの給与、物件費は事務に関する消耗品や備品に用いる費用です。

壬生町民憲章 1. 働くことによるこびをもち豊かな生活をさげます

「カン食い虫」を

各学校に設置

空カンつぶし機で環境美化へ

町では、空き缶害を食い止める空き缶つぶし機の「カン食い虫」を町内の小中学校に十一月二十四日設置し、環境美化と再資源化を進めて行くことになりました。

空き缶害については、毎年みなさんの協力を得て、美化キャンペーンを実施していますが、ポイ捨ては後を断たず、沿道に

投げ捨てられている空き缶が目立っています。町でもこのような状況を踏まえて、カンつぶし機の購入を検討していましたが、環境美化と再資源化の一石二鳥の機能を果たすことから購入を決定し、このほど十台購入し、町内の各小中学校に設置したものです。

このカンつぶし機は「カン食

い虫」という名前前で呼ばれ、全体的に冷庫のような形をした高さ二五cmのもので、投入口から缶を一個ずつ入れて、「」の力で約十秒で延べ板につぶし機械の中でアルミと鉄に分けられ、受け皿に取納されます。つぶした缶は売却できるので、収益金については、それぞれの学校で教材費に充てる予定です。

●空き缶等の散乱防止の標語コンテストで入賞された作品です。今夏、関東知事会や県で発刊されるパンフレットに掲載されます。

●関東地方知事会空き缶等の散乱防止と再資源化を進めるための標語コンテスト最優秀賞受賞作品（栃木県コンテスト金賞受賞）

缶拾う その手に育つ きれいな郷土
壬生中学校二年 柴 友恵

空き缶も アイデアいかにして 再利用
南大湖中学校三年 中川 理恵子

愛の手で 拾う空き缶 大事な資源
壬生中学校二年 阿久津 智子



昨年実施された統計調査で成績が優秀であったとして、生産動態統計調査で新正工業㈱が、動態統計調査で下町の荒川重利さんが、それぞれ通商産業大臣賞を、そして、毎月勤労統計調査で、それぞれ



調査で優秀であったとして、生産動態統計調査で新正工業㈱が、動態統計調査で下町の荒川重利さんが、それぞれ通商産業大臣賞を、そして、毎月勤労統計調査で、それぞれ

●栃木県コンテスト銀賞受賞作品
空き缶も アイデアいかにして 再利用
南大湖中学校三年 中川 理恵子

●愛の手で 拾う空き缶 大事な資源
壬生中学校二年 阿久津 智子

第二十二回栃木県統計大会は十月九日栃木会館大ホールで行われ、その席上、田向の荒川政雄さん、下表町の市川吉藏さんが、栃木県統計協会有名誉会長（栃木県知事）から、それぞれ統計功労者として表彰されました。

荒川さんは昭和四十五年から市川さんは昭和四十九年から、国勢調査をはじめとして、事業所統計調査、住宅統計調査、商業統計調査などの調査員として十年以上にわたり尽力され、その功績が認められ表彰されたものです。

県統計大会行われる 新正工業・栃木フソー 荒川(重)さんが大臣賞受ける

安全運転に腕を競う

女性ドライバークラブ

栃木署管内の一市四町（栃木市、都賀町、大平町、岩舟町、壬生町）の女性ドライバークラブア安全運転競技会が十月二十九日栃木自動車教習所に、十四チーム四十二人が参加して行われました。

この競技会は、技術の向上と安全意識の高揚を図るため毎年開いているもので、今回で五回目です。

この日、本町から参加した二

チーム六名のみなさんは、九月十日行われた壬生地区大会で、入賞し、町を代表して競技会に望んだもので、あいにくの雨の中車の乗り降りの順序や、安全確認などの細部にわたり競い合いました。

その結果、本町のAチームが三位に入賞、Bチームは、おしくも入賞ありませんでした。

Aチームのみなさんは、十一月十七日行われた県大会に出場



し、健闘しましたが入賞におまびませんでした。

城南 大島モトさん
1円玉寄付された大島さん

寄託されました。

大島さんは、社会福祉協議会に家庭奉仕員として勤め始めた昭和四十六年に「困っている人に何か役立ちたい」と、田玉貯金を思いつき、その翌年からこつこつと瓶に貯め始め、それから現在までの約三年間、買った物の釣り銭などを瓶に入れては満たしていく、家族などの協力もあってこのほど十八リ瓶からいっぱいになり、大島さんが退職と合わせて善意銀行へ寄託されたものです。

大島さんの心を大切に、寄託金は有効に利用させていただきます。

故関溱氏の意志をつぎ

七〇〇万円を寄付

名譽町民第一号の故関溱氏の長男、関真一郎さんは、十月二十八日町を訪ずる「夜に立ててください」と、七〇〇万円寄付されました。

この寄付については、故関溱氏の意志を関真一郎さんが受けついで、寄付されたものです。

生前の関溱氏は、常に本町の将来と発展に情熱を傾注されておられたりです。

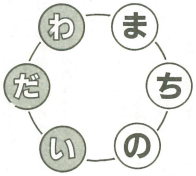
町では、この寄付金を仮称総合会館の美術品の購入にあてて有効に利用していきたいと考えています。

地区大会に参加した皆さん

十一月の町内価格調査結果

| 品名 | 単位・品質 | 最低値~最高値 | 平均 | 前月平均 |
|------------|-----------------|-------------|-------|-------|
| 小麦粉 | 1等粉 1kg | 158~220 | 200 | 194 |
| 豚肉 | もも 100g | 115~180 | 174 | 166 |
| サラダ油 | ピビン 1,650g | 612~748 | 681 | 679 |
| 砂糖 | 上白糖 1kg | 200~270 | 249 | 242 |
| しょう油 | 濃口 1リ | 218~280 | 255 | 246 |
| 塩さけ | 100g | 99~200 | 146 | 161 |
| さばカン | 水煮2号 220g | 100~218 | 132 | 123 |
| インスタントコーヒー | 150g | 868~1,050 | 975 | 949 |
| キャベツ | 1kg | 20~103 | 61 | 75 |
| 玉ネギ | 1kg | 128~250 | 194 | 193 |
| 卵 | 10個入 M | 178~270 | 209 | 199 |
| ちり紙 | 1,200枚 | 198~280 | 244 | 242 |
| ティッシュペーパー | 400枚 | 128~150 | 137 | 135 |
| 洗濯洗剤 | 2.65kg | 750~940 | 877 | 871 |
| 台所用洗剤 | 380ml | 146~225 | 169 | 171 |
| ラップ | 30cm×20m | 110~206 | 167 | 155 |
| アルミホイール | 25cm×8m | 99~158 | 132 | 117 |
| 灯油 | 18ℓ | 1,440~1,700 | 1,545 | 1,583 |
| プロパン | 5m ³ | 2,600~2,650 | 2,642 | 2,642 |
| ガソリン | レギュラー 1リ | 145~150 | 149 | 150 |
| 軽油 | 1ℓ | 100~115 | 109 | 111 |

寄付される関真一郎さん



町民のひろば

「町民のひろば」はみんなで作るページです。まちのわだいなは、身近なニュースや「できごとを、職種の若手」を紹介される方は、男女は問いませんがなるべく独身の方を、「私の家族」は小学生頭の方、「わたしの自慢料理」は主婦の方にご二報ください。

身障者を招きイモ堀り

壬生ライオンズクラブ

壬生ライオンズクラブ（吉田実会長）では、十一月三日、町のボーイスカウトやガールスカウトの協力を得て、国分寺町の農園に身障者の親子を招き、サツマイモ堀りを行いました。このイモ堀りは、日頃の環境から離れ、野外で親子一緒に土



に触れながら楽しんでおおうと、毎年開いているもので今年三回目。イモ堀りに参加した二十組の親子は、ライオンズクラブ・ボーイスカウト・ガールスカウト

地域のみなさんと交流会

せせらぎ学園（安塚）



老人会の人達と楽しく過ごす園生

せせらぎ学園（松野幹園長）では、園生を地域の人達によく知っていたらと、十一月八日地域の老人会を学園に招き、交流会を開きました。この交流会は今年で六回目です。この日参加された老人会のみなさんと園生は、一緒に食事をした後に、歌をうたったり、ゲームなどをしてすっきりとけい、時間の過ぎるのも忘れず、楽しく過ごされていました。

菊づくりの

後継者育成に

万町の中島さん

菊づくりの後継者を育成するために、万町の中島福次郎さん（ご）は、菊栽培のさし芽から開花までを手に取って教えています。中島さんは、菊づくりをする人が年々減ってきていることから、後継者をなんとか育成しようとして三年前から自宅で教えたため、受講生の中には相当な技術を身につけた人もいます。菊づくりの指導は、毎月第一日曜日の午前九時から十二時まで無料で教えていますので、興味のある方、菊づくりをのぞいてみたらいかがでしょうか。

短歌

壬生町文化祭入賞作

俳句

蜘蛛の糸きらく中にもがき
るはかなき輝を放ちてやりぬ
茂木富美子
いくたびか箱へ替へしたる古毛
糸巻きつつ想ふ子育ての頃を
野沢 学人
花の花やさしく白く濡れれど
昨日よりつづきさみし耳鳴り
鈴木 茂弥
どうせすぐ果つるいのちの蟻
を焚火の中より擁み出したり
鈴木 木兎
秋山 仙
嘯ひ合はぬ話とされり秋の風
鈴木佳世子
障子貼り児がいて口も手も忙し
山田 タキ
秋空をうつつ湖底に哀話秘む
鈴木 木兎
秋露の縄おもひきり叩きけり

三〇〇人の稚児たちが歩く

舟町の雄琴神社例祭



色とりどりに着飾った稚児たちがお田さんと歩く

雄琴神社（舟町）の例祭が十一月二十九日行われ、三〇〇人の稚児たちが町内を練り歩きました。この日は、冠や色とりどりに着飾った稚児たちが、お母さん

百歳の鈴木イエさんを祝う

西高野自治会

西高野自治会（鈴木庄吉会長）では、百歳を迎えた鈴木イエさん（西高野）の長寿を、十一月二十五日祝いました。鈴木イエさんは、九月に内閣総理大臣賞を受けるなど、私たちがのまらでも最高齢者です。この日、自治会代表が鈴木さん宅を訪ね、花束と記念品を贈り、「これからも元気で長生きしてください」と励まし、みなさんで寿を祝いました。



「これからも元気で長生きを」と励ます西高野自治会のみなさん

県知事選挙行われる

渡辺文雄氏が 新知事に

船田譲前知事の病氣辞任に伴う知事選挙は、十二月九日県下一斉に行われ、本町でも十八投票所で、午前七時から午後六時まで行いました。また、開票は午後六時五十分から中央公民館で行い、午後八時三十分終了しました。

町選挙管理委員会では、広報車等を出して選挙のPRに努めました。最後まで有権者の投票意欲が盛り上がり、投票率は三三・五八％（県平均三八・六％）にとどまり、五十七年の知事選に比べ、一五・五％およびよびませんでした。

選挙管理委員改選される 委員長に吉田氏が就任



- 町選挙管理委員および補充員の任期満了に伴い、九月定例町議会で、次の方々が選任され、選挙管理委員長に吉田忠雄氏が就任しました。
- 選挙管理委員
 - 委員長 吉田 忠雄（五）
 - 委員 表町一〇一三
 - 委員 中川 廣富（三）
 - 委員 安塚 一三三三
 - 委員 青木 莊一（六）
 - 委員 元町 八一四
 - 委員 雪（六）
 - 委員 国谷 一九八二
- 補充員
 - 三上 武次（上稲葉八四〇）
 - 人見 夏（中央町六四〇）
 - 中村 廣雄（安塚一八六九）
 - 中川市衛門（安塚四一八）

| 投票所 | 有権者数 | 投票者数 | 投票率 |
|---------|--------|--------|--------|
| 中央公民館 | 4,225人 | 1,589人 | 37.61% |
| 寺公民館 | 1,684 | 615 | 36.52 |
| 民生公民館 | 994 | 247 | 24.85 |
| 町公民館 | 827 | 312 | 37.73 |
| 中央公民館 | 4,811 | 1,381 | 28.71 |
| 小公民館 | 753 | 309 | 41.04 |
| 東原公民館 | 995 | 333 | 33.47 |
| 業地区公民館 | 535 | 229 | 42.80 |
| 七石公民館 | 935 | 325 | 34.76 |
| 羽田公民館 | 735 | 186 | 25.31 |
| 北公民館 | 434 | 180 | 41.47 |
| 安上公民館 | 2,745 | 875 | 31.88 |
| 小塚公民館 | 456 | 182 | 39.91 |
| 長田公民館 | 563 | 224 | 39.79 |
| 谷公民館 | 427 | 156 | 36.53 |
| 中公民館 | 470 | 259 | 55.11 |
| おもちや公民館 | 2,187 | 638 | 29.17 |
| 独協医科大学 | 1,495 | 447 | 29.90 |
| 計 | 25,271 | 8,487 | 33.58 |

○各投票所の状況

職場のわかもの

大垣照美さん(21)
㈱エポック工業



笑顔の素敵な人

玩具製造のエポック工業で活躍すること二年八月、素直で明るく、只今青春まつたただ中という二十一歳のうら若き女性です。

仕事は、組立ラインの検査員です。検査は勿論のことミス打ち、ハンダ付けと何でもこなす器用な彼女です。ちよっぴり色気と可愛さを兼ね備えた、可憐な職場の花です。

それでいてスポーツは野球が大好きというので、入社ままもない頃は、全社の野球部のメンバージャーをかって出て、部員の

面倒を見ていたが、最近では彼女の心に異変が起きたのか、野球部の方はさっぱりです。部員は最近寂しいかぎりだと嘆くことが多くなりました。

彼女もきつとお年頃、恋の話しがずらほら……。

理想の男性はと聞くと、ウフフと笑ってごまかされたという感じ、とこの男性が彼女のヘッドをうら止めたのちよっぴり気掛りです。

趣味は手芸にレコード鑑賞とのことです。

紹介者 第一製造 蛭沼一良

私の家族

やさしい
おばあちゃん
壬生小学校二年
後藤 麻樹



わたのおばあちゃんは、今年六十四歳ですがとてもはりきっています。お母さんがつとめに出たあと、おばあちゃんは、おそうじ、せんたく、はたけの



おばあちゃんのケンさん

しごと、三歳になる妹のせわ、それにやぐほのしごともしるてるので、金を出かけたらねたきりのお年よりのせわや、赤いはねのは金にいたりして、まい日ともいそがしいのです。わたしが学校から帰ると、ゆくだいを見てください。しゅくだいやる時は、とってき

びしいです。でも、おわたもた、とってもやさしくなるのです。いねなでもしゅくだいをやってしまおうとまごひます。夜はいろいろなお話をしてくれまます。おばあちゃんのお話の時のお話や、時には、歌を歌ってくれたりもします。子もり歌のように聞こえてしまうまにかわたしは、わびてしまいます。そんな時は、いたすらの妹もおとなしくして聞いています。また、わたしの友だちが来る時、わたいだいじにしてくれまます。だからとってもうれしいです。お友だちをたいせつにしなさいと、いつも教えてくれます。こなやさしいおばあちゃんに、いつまでも元気であがいきしてもらいたいと思います。

わたしの自慢料理



クリの波皮煮
東下台
内堀雪子

【材料】 クリ1kg・砂糖700g
重曹茶サジ3杯・塩少々
【作り方】 ①大ききつやのあるクリにひたさる程度の水を入れ、重曹茶サジ1杯を加え沸とう5分で火を止める。②の様に水を加え、静かに沸とう5分まで火を止め冷えるまで置く。③クリを真水で洗い流しながら筋皮を丁寧に取ります。新しい水でクリがひたさる程度に入れ、重曹茶サジ1杯、砂糖700g、塩少々を加えて30分煮てでき上がりです。このクリに青のり、でん粉、ゆで黄味汁を混ぜたものをまぶすと一すしやれたお茶会となります。また、④の煮汁を、ふた付きの器にクリがひたさるまで入れ、冷蔵庫で保存もできます。



町史研究

あれこれ

精忠神社の祭礼(5)

八月朔日の祭礼は「精忠霊神御祭礼之次第」として特別に書き記してあります。

その概略は次の通りです。

まず、七月晦日の暮すきに御宮掛りの三人が御宮へ行き、掃除など念入りにしてから御宮の御内陣を開き、明日の御供物の御酒瓶一対と、土器に盛った御洗米を用意しました。

また、この日は染帷子麻十下を着けた御用人、御目付も殿に詰めておりました。

やがて御宮掛りに案内された

年寄役が参り、殿様の御代拝が認むと、御宮掛りは御供物を確認し更に、火の元を念に確かめてこの日は、同退散になりました。

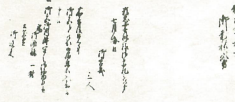
八月朔日
この日は新しい実りを祝う日です。

「僧尼その外けがれあるものは入るべからず」という意味を書いた札を朝のうちに鳥居の前にかかけ、足軽二人が御宮御門の左右に立番しました。

また、御宮御門内に、大御馬印、御陣屋まとい、大御旗二本、紅御旗などを飾りつけ、更に一ノ御鳥居前に轡二本を建てました。

朝六ツ半時(午前七時)になりますと、染帷子麻十下の御用人、御目付各一人が御拝殿に詰めました。

この日の御供物は、中央に御鏡餅、御洗米、大魚、小魚を左に神酒、ひじき、昆布を、右に栗子、にんじん、大根をそれぞれ土器などに盛り、白木の三方に載せてお供えしましたよう



「精忠霊神御祭礼之次第」本文

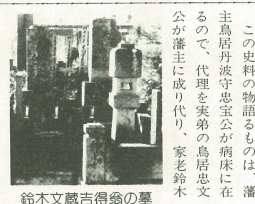
但し、御供物は昼時になりますと羽物又は魚貝類、赤飯、塩干栗子などに替えられたころへ準備がすべて整ったところへ殿様御代拝の年寄役などが案内

町史編さんだより

幕末の壬生藩と動向

幕末の激動期、壬生藩では藩主や重臣が、どのように対応したか理解出来る、一片の史料をみてみましょう。

この史料の物語るものは、藩主鳥居丹波守忠宝公が病床に在るので、代理を実弟の鳥居忠文公が藩主に代り、家老鈴木



鈴木文蔵吉得翁の墓

吉得と共に、その流動する時勢に対応した経過が記されています。

皇時より赤飯、塩、青菜、午粿などに替えられました。

御本社への御代拝が済んでから、殿様及び若殿様の御代拝が本社へもなされました。

この後御家中の方々は九ツ時

(正午)までに参詣を済ませ、夕方の七ツ時(四時)には一切始末して一同退出しました。

なお、祭りにかかわる方々は前後より仕事などに、立合うことは禁ぜられておりました。

即ちラシテ命ヲ聞カシム、吉得郎等子京ニ入ル。

注(辨官、辨官局とは律令制下、大政官三局のうち、左右弁官局の職務をいう、平安時代末期からは左大史を世襲した小槻氏「壬生家を差す」が、弁官局の事務を統轄して官務家とよばれた)

◎十五日藩主猶赤病褥ニ在リ重臣ヲシテ命ヲ聞カシムルノ書ヲ辨官ニ致ス。

◎十八日辨官指令ヲ辨事傳達所ニ於テ天機ヲ伺候セシム。

◎十九日藩主ノ弟鳥居忠文(西紀一八六八年)注(この年の九月八日、年号を明治と改元し一世一元制となる)、幕府告グルニ、左ノ達書ヲ以テス。

王政復古被、仰出萬事取扱、萬石以上ノ面々、以來萬事取扱、々御改可相成候間、萬石以上ノ面々ニ可被達候事。

◎三月、日ヲ還ス、辨官藩主ノ入京ヲ促カス、藩主病床ニ在リ、故ヲ以テ、家老鈴木吉得留主清水文助、諸士熊倉小三

本文(原文)

◎慶応四年戊辰二月二十三日(西紀一八六八年)注(この年の九月八日、年号を明治と改元し一世一元制となる)、幕府告グルニ、左ノ達書ヲ以テス。

王政復古被、仰出萬事取扱、萬石以上ノ面々、以來萬事取扱、々御改可相成候間、萬石以上ノ面々ニ可被達候事。

◎三月、日ヲ還ス、辨官藩主ノ入京ヲ促カス、藩主病床ニ在リ、故ヲ以テ、家老鈴木吉得留主清水文助、諸士熊倉小三

以上原文のママを記してありますが、これから戊辰戦争の大きな渦巻の中に入っていくわけ

です。

辨官三具陳ス。

町消防団通常点検

火災時の備えは万全

永年勤続者など表彰

町消防団 梁島安男団長、団員二〇三名の通常点検は、二月一日壬生小学校校庭で開かれました。

点検は、多数の来賓を迎えて、点検が機械な動作で次々に行われ



白備隊の音楽隊を先頭に分列行進する町消防団員

れました。

また、放水点検は会場を藤井河岸に移して、サイレンの合図とともに大空に向けて放水しました。

続いて、壬生駅から大通りを自衛隊音楽隊を先頭に分列行進し、点検が一層盛り上がりしました。またこの点検で、永年勤続団員や消防協力者などの表彰がありました。

表彰された方々は次のとおりです。(敬称略)

県消防協会会長表彰並びに壬生町長表彰

▽永年勤続章「十年」 鈴木正美 県消防協会下都賀支部長表彰並びに壬生町長表彰

▽功績章「関本和夫、吉岡栄

▽永年勤続章「五年」 山川秀夫 箱森敏善 川島明、梁島忠信 大垣俊夫、白井正敏、小平廣、山崎秀樹、柏崎実、荒川正喜、朝日康雄、荒川一男、荒川隆之、小森淳男、松本芳也、鈴木茂夫、中村久雄、中村忠、清野信雄、小平澄夫、金子茂

壬生町長表彰

▽優良部 第二分団第一部、第二分団第三部、第一分団第五部、第三分団第二部、努力賞の部 第二分団第五部、第二分団第二部

▽永年勤続者に対する内助の功

感謝状

感謝状 鈴木和子

▽退団者感謝状 荒川政治、青木博、桑川富男他五十二名

▽防火貯水槽設置に係る土地提供者感謝状 浦坂脩一、恩田好造、木野内金一郎、大橋年正

▽早期発見者及び部外協力者感謝状 高木ハツ、小川孝志、稲葉薫男、佳代、荒川義雄、山川安男、篠原久一

▽防火ポスター入選者表彰 栗原仁、岡部さおり、宮原映子、渡辺美智子、黒子裕史、熊倉孝典、名坂公江、中村加代子、渡辺俊輔、梁島淳、別井久美、大垣健之助、浜友理江、寺内徹、山口美幸、町田泰津子、瓦井史子、富澤美果子

農家の皆さんご協力ください

農業センサス(実態調査)が 二月一日実施されます

五年に一度実施されます農業センサス「実態調査」は、「農業経営の国勢調査」ともいえる大規模な調査で、来年二月一日現在で行いますので、農家のみなさんのご協力をお願いします。

調査の対象となった農家には一月下旬に調査員が伺い調査をおねがいします。

調査の内容は、経営耕地面積、農産物販売金額、農業従事者数、種類別経営耕地面積、作物別収穫面積、家畜、機械、施設の状況などです。調査の内容は、統計以外は使用しません。

一月の納税

町県民税

第四期分

| ま ち の う ご き | |
|-------------|----------------|
| 12月1日現在 | |
| 人 口 | 36,866人 (+41) |
| 男 | 18,309人 (+12) |
| 女 | 18,557人 (+29) |
| 世帯数 | 10,383世帯 (+21) |
| | ()内は前月比 |